

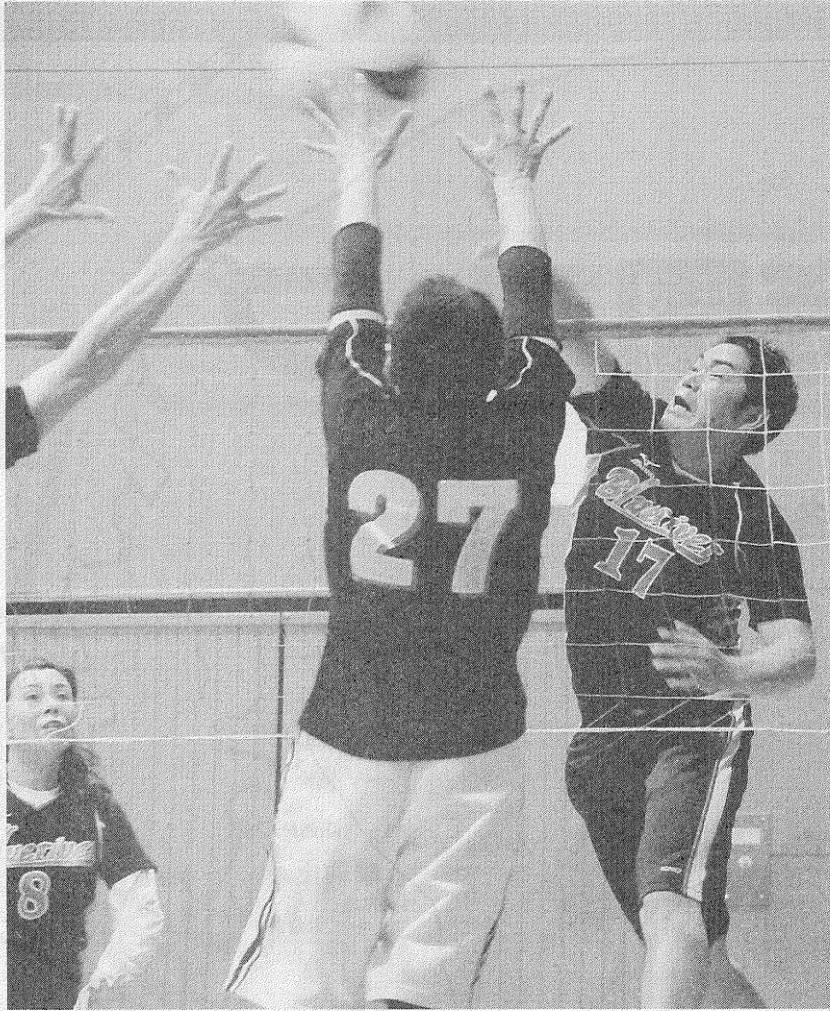
ソフトバレー 道南地区親善大会

ブルーリバー4B制す

【北斗】ソフトバレーの第62回道南地区親善大会(函館ソフトバレーボール連盟主催)最終日は6日、市スポーツセンターで一般の各部を行った。トリムブロンズの部はブルーリバー4Bが制するなど、計6部門で優勝チームが決まった。記録は後日掲載。

(後藤 真)

けがの痛みに耐えて強烈なスパイクを放つブルーリバー4Bの平野



トリムブロンズの部



トリムブロンズの部で優勝を飾ったブルーリバー4B

打ち続けた平野は「これからを体験できて本当によかった。初優勝」と安堵(あんど)していた。

トリムブロンズの部で優勝を飾ったブルーリバー4Bは、けがを押して強行出場した平野洋之の活躍が光った。平野は「痛みはあったが、勝ちたかったから頑張ってた」と話した。
1カ月ほど前に攻撃の柱の平野が左肩に炎症を起こした。痛みが治らないまま大会を迎えたが、初優勝を果たすために出場を決めた。
予選は2試合ともフルセットで勝ちついで通過となったが、決勝トーナメントでは本領を発揮。平野は痛み止めの薬を飲み、歯を食いしばりながら強烈なアタックを連発し、女子選手も好レシーブでそれを支え、ウィクトリーBとの白熱した決勝を制した。
木村勇人主将は「このメンバーになって初めて優勝できてうれしい」と話し、懸命に

ブルーリバーYB優勝

トリムヤングIの部



トリムヤングIの部で優勝したブルーリバーYB